



柏木幸平議員

薩摩中央高校の振興対策

町長／高校との連携を強化

高校振興

柏木 高校の志願率を上げるために町の支援は、また、福祉科存続には、福祉職の労働改善も必要である。国への要望は考えないか。

町長 19年度は、普通科と福祉科が定員を割って

います。

現在、町は学校周辺の道路整備など環境整備を行っていますが、今後も高校のイメージアップに支援・努力します。

国への要望は、今後、協議会で可能性について具体的に協議をいたします。

家庭教育の支援体制強化

町長／適切な指導助言に努める

柏木 教育環境が大きく変化し、子どもを育てる

親の責任はこれまで以上に重要である。町ぐるみでの支援体制をどう考えるか。

町長 幼児・児童・生徒の保護者を対象とした家庭教育は、親子のふれあいの提供や関係団体と連携をし充実に努めています。

今後の推進は、保護者への学習機会及び情報の提供やより適切な指導や助言ができるよう努めます。



ベッド上で寝たまま足を洗う実習（薩摩中央高校）

A E D

町民のもしもに備えて

町長／18年度2名が生還



平八重光輝議員

平八重 子どもや地域の皆さんの命を救うために町内小中学校にAEDを設置し、町民の“もしも”に備えるべきと思うが。

町長 平成18年度にAEDを16件使用し、2名が生還されています。

現在、本庁、宮之城総合体育館、温泉プールに設置されていますが、消防本部のAED普及推進計画に小中学校も計画されています。今後、財政状況を考慮し検討します。

文化の記録保存と助成を

町長／記録保存も大切

平八重 町内の伝統文化や行事、ならわし、農業技術等を記録し、また、保護や維持再生活動に助成を行う考えはないか。

町長 町内にはたくさんの伝統文化や年中行事、祭りごと技術等があります。しかし、後継者がいなくなる地域もあります。これらを引き継いでいく手だても必要であり、記録保存も今後検討します。

また、伝統芸能等の助成については、申し出があれば検討します。



宮之城総合体育館に設置されているAED（縦21.8cm，横21.8cm）

AED（自動体外式除細動器）

心肺停止時、心臓に電気ショックを与えて心臓の機能を回復させる装置